大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度　第６９号
令和３年２月２４日

学校教育目標　　ゆめにむかって　えがおいっぱい　みんなでチャレンジ

＜ふるさと愛をもらいました＞

ギバちゃんがやってきた！　健康集会part２

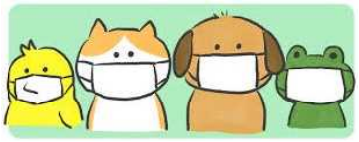
先週水曜日、大仙市（刈和野）出身の俳優「柳葉敏郎」さんが、本校にいらっしゃいました。保健委員会が主催する「健康集会 part ２」のメインゲストとして、養護教諭の佐々木伴子先生の計らいでお招きしたものです。柳葉さんは、ちょうど５年前（月日も曜日も同じ）にも来校され、今回が２回目でした。　※　前回は６年生が１年生のときで、ご自身のお子さんも同じ６年生です。　集会では、事前に各家庭にお願いしていた「ギバちゃん大捜査線」をもとに、各学年から１名ずつの質問で始まりました。子どもたちの質問に対して、真正面から関わり、ていねいに答えてくださいました。３年の冨岡絢仁（けんと）さんが、刈和野の大綱引きについて質問した時は、柳葉さん、絢仁さん、伴子先生の３人が綱引きの半纏を着て、「ジョーヤサノー」の掛け声で、提灯を振りました。また、５年生の高橋仁さんがダンスについて質問し、それに続いて５年生全員が「一世風靡セピア」の「前略、道の上より」を披露してくれました。さらにそれに柳葉さんも加わり、踊ったり、歌ったりしてくださいました。キレッキレの踊りは本当にかっこうよかったです。

柳葉さんは、お話の中で、秋田の人と自然の素晴らしさ、食のおいしさを何度も強調されていましたし、夢の実現に向けて努力し続ける大切さも語ってくれました。また、最後には、「夢は見るものではなく、叶えるもの」とも話されました。

マスクの話（記名のお願い）

１年前のマスク不足がウソのように、今では多くのお店でマスクが積みあがっています。今では、皆様のご協力もあり、全児童がマスクを着用して、安全・安心のもとで学校生活を送っています。

校内をまわってみると、ときどきマスクが落ちていることがあります。絵柄などで特徴的マスクですと、持ち主に戻すことが可能な場合が多いです。もちろん不織布マスクですと、ほとんどが似通っているため、戻すことは不可能です。（使用済みなので、ゴミ箱行きとなります。）



問題は、記名の無いウレタンや布製のマスクです。回覧して持ち主を探すことは、衛生上、好ましくありません。どうか、ウレタン製や布製のマスクには、記名をお願いします。また、衛生管理面も重ねてお願いします。

６年生へ　感謝の気持ちを伝える

卒業式まで一か月を切りました。金曜日には、お世話になった６年生に向けて、縦割りグループごとに「ありがとうメッセージ」作成の準備が始まりました。５年生が主体となって進めている活動です。

早速、この日の２校時には、１年生がメッセージ書きを行っていました。メッセージは、６年生一人一人毎にまとめられ、３月３日に開催される「６年生を送る会」の際に渡されます。

このように、いよいよ卒業式が近付いてきました。６年生は、来週から卒業式練習がスタートする予定です。